

第5回グローバル5Gイベントが、2018年5月16日～17日、米国 テキサス州 オースティンにおいて5G Americas主催で開催された。米国内外から300名を超える専門家と業界関係者が集まり、「5G New Horizons Wireless Symposium」と銘打って活発な議論がおこなわれた。また、グローバル5Gイベントに併設して展示イベント(5G North America)が開催された。

第5回Global 5G Eventの概要

- 日時: 2018年5月16日(水)～17日(木)
- 場所: Austin Convention Center (米国 テキサス州 オースティン)
- 主催: 5G Americas
- 登壇者: 日本からの以下の6名を含む約50名のモデレータ・パネリスト
中里氏(総務省)、松永氏(KDDI)、奥村氏(NTTドコモ)、中村武宏氏(NTTドコモ)、
中村隆治氏(富士通)、佐藤事務局長(5GMF)

■概要:

- ・日米欧中韓伯の主管庁、5G推進団体、専門家と一般聴講者、合計300名以上が参加。
- ・5G AmericasのChris Pearson会長から歓迎の挨拶があり、続いて会長とFCC Legal AdvisorのUmair Javed氏が対談する形で、オークションの可能性を含めて周波数の割り当てを中心とした**基調講演**がおこなわれた。
- ・2日間のイベントでは、7つのキーノートと、9つのショートプレゼンテーションを含むパネルディスカッションがおこなわれ、商用化に向けたテーマで活発な議論がおこなわれた。
- ・イベントでは、各国の周波数割り当てや実証試験の状況、サービス開始時期などが報告された。また、5Gは実証試験の段階となったが、まだシステム展開、規制、ビジネスモデル、周波数など、さらに議論や計画準備が必要であること。5Gの商用化には、引き続きバーティカル(利用産業)との連携が重要になるといった共通の認識が示された。

- ・日本からは、6名が以下のキーノート/モデレータ/パネリストとして参加した。

中里室長(総務省):	パネリスト	The Progress of 5G Spectrum and Regulatory Policy
松永氏(KDDI):	パネリスト	Global Operator Viewpoints
	パネリスト	NW Architecture Transformation from LTE-Advanced to 5G
奥村氏(NTTドコモ):	パネリスト	5G Trials and Pre-Commercial Launches
佐藤事務局長(5GMF):	パネリスト	5G Trends and Collaborations
中村武宏氏(NTTドコモ):	パネリスト	5G Services and Use Cases
	パネリスト	The Future of 5G
	モデレータ	5G Ecosystem
中村隆治氏(富士通):	キーノート	Preparing Tokyo for 5G
	パネリスト	5G Ecosystem

- ・最後に、5G Brazil ProjectのDr. Jose Marcos C. Brito氏が**第6回グローバル5Gイベント**を2018年11月28日～30日に、リオデジャネイロ(ブラジル)において開催することを宣言しイベントを終了した。
- ・イベント運営委員会(TPC)では、今後のグローバル5Gイベント開催について、2019年から2020年頃までは年1回とすることを決め、5G-IAが2019年6月にEuCNCとコロケーションとしスペインでの開催を表明した。
- ・また、グローバル5Gイベントと併設して5G North America(セッション及び展示イベント)が開催された。



「グローバル5Gイベント」は、世界の第5世代移動通信システムに関する推進団体により、年2回共同開催されるものです。推進団体:5GMF(日本)、5G-IA(欧州)、IMT-2020(5G) Promotion Group(中国)、5G Forum(韓国)、5G Americas(米国)、5G Brasil(ブラジル)



講演会場 (グローバル5Gイベント)



展示会場 (5G North America)